

外国語科学習指導案

5年2組 35名 指導者 尾崎 亜里紗
AEA 原崎 圭子

本授業は、以下の検証を行うものである。
三者対話と相互評価によるコミュニケーションの工夫や、単元のゴールにつながる振り返りを行う場面を設定することは、外国語活動・外国語科における「主体的に学習に取り組む態度」に着目した授業改善の手立てとして有効であったか。

1 単元 When is your birthday? 誕生日やほしいものを伝えよう

2 目標

自分のことを伝えたり、相手のことをよく知ったりするために、試行錯誤しながら表現内容や表現方法を考え、友達と誕生日やほしいものなどについて尋ね合う活動を通して、よりよく自分の思いや考えを伝え合うことができるようにする。

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○ 誕生日やほしいものに関する語句を用いて、思いや考えを伝え合う技能を身に付けている。	○ 相手によりよく伝わるように、表現内容や表現方法を工夫して、誕生日やほしいものなどについて思いや考えを伝え合っている。	○ 相手によりよく伝わるように、試行錯誤しながら表現内容や表現方法を工夫して、誕生日やほしいものなどについて、思いや考えを伝え合おうとしている。

4 単元について

(1) 単元の位置とねらい

本単元では、どのように工夫すれば、自分のことを伝えたり、相手のことを知ったりできるか考え、課題解決に向かって試行錯誤しながら、表現内容や表現方法を選んだり、見いだしたりする活動を通して、誕生日やほしいものに関する語彙や表現に慣れ親しみ、よりよく自分の思いや考えを伝え合うことができるようにする。具体的には、誕生日やほしいものなどについて尋ねたり答えたりする活動を通して、多様な考えを理解したり、それらを伝えるために必要な語彙や表現に慣れ親しんだりすることができるようにする。また、自分や他者のコミュニケーションを比較したり、自らのコミュニケーションを振り返ったりすることで、よりよく自分の思いや考えを伝え合うことができるようにする。

ここでの学習は、Unit3「What do you want to study? 学びたい教科やなりたい職業を伝えよう」において、他者に配慮しながら、学びたい教科やなりたい職業に関する語彙や表現に慣れ親しみ、自分の思いや考えを含めて伝え合う学習につながるものである。

(2) 子供の実態

本学級の子供は、外国語科の学習に意欲的に取り組む子供が多い。特に、「聞くこと」を得意としている子供が多く、ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができる。また、自分に関することについて、これまでに習得した語彙や表現を用いて、意欲的に自分の思いや考えを伝え合う経験を積み重ねている。一方、課題解決に向かって試行錯誤しながら表現内容や表現方法について考えたり、自分のコミュニケーションを修正したりして、思いや考えを伝え合うことに課題のある子供が多い。

そこで、本単元では、語彙や表現に十分慣れ親しませ、試行錯誤しながら表現内容や表現方法を工夫することで、誕生日やほしいものなどについてよりよく自分の思いや考えを伝え合うことができるようにする。

(3) 指導上の留意点

本単元の導入では、HRTによるプレゼンテーションを視聴後、コミュニケーションの目的や場面、状況等を明確にすることで、お互いのことを知ることができる題材の視点を生かした単元のゴールを設定できるようにする。そして、プランニングシートを活用することで、単元のゴールを達成するために、どのような表現内容や表現方法が必要かを考え、単元全体の見通しをもつことができるようにする。

展開では、短い話についての聞き取りやチャンツ、Small Talkを行い、語彙や表現を繰り返し扱うことで、それらに十分慣れ親しむことができるようにする。また、三者対話とアドバイスカードを活用した相互評価によるコミュニケーションの工夫を行う場面を設定することで、単元のゴール

の達成に向けて表現内容や表現方法の工夫について共有したり，助言し合ったりして，よりよいコミュニケーションを見いだすことができるようにする。さらに，グッドポイントタイムを取り入れることで，お互いのコミュニケーションのよさに気づき，表現内容や表現方法の工夫や改善点について共有できるようにする。

終末では，振り返りカードを活用して，単元のゴールの達成に向けて，新たな気づきや生かせそうな学び，疑問などについて短い文で書く場面を設定することで，「誕生日やほしいものなどについて伝え合うことができた。」「表現内容や表現方法を工夫することで，自分の思いや考えがより伝わった。」など，自らのコミュニケーションを振り返り，適切な表現内容や表現方法を見いだし，よりよく自分の思いや考えを伝え合うことができるようにする。

5 指導計画（総時数8時間）

過程	主な学習活動	AEA:0	時間
導入	1 単元のゴールについて話し合い，学習計画を立てる。 ・ 何のために誕生日やほしいものを伝え合うのか目的や場面，状況等について話し合い，学習計画を立てる。 ・ どのような語彙や表現が必要かを考え，学習の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">お互いのことをもっと知って仲良くなるために，友達と他己紹介クイズをしよう。</div>		1
	2 誕生日について尋ねたり答えたりする。 ・ 誕生日についてのやり取りを聞き，内容を推測して理解する。 ・ 誕生日について，尋ねたり答えたりする。	○	1
展開	3 ほしいものについて尋ねたり答えたりする。 ・ ほしいもののやり取りを聞き，内容を推測して理解する。 ・ ほしいものについて，尋ねたり答えたりする。	○	1
	4 誕生日やほしいものについて，尋ねたり答えたりする。 ・ 誕生日やほしいものについて，尋ねたり答えたりする。 ・ アドバイスをし合い，誕生日やほしいものを伝えるための表現内容や表現方法の工夫について考える。	○	1 (本時)
	5 誕生日やほしいものについて，プロフィールカードを作成する。 ・ 自分の思いや考えが伝わるようなプロフィールカードを作成する。	○	1
	6 プロフィールカードを交換し，単元のゴールに向けて準備をする。 ・ 第4時の課題を踏まえて，表現内容や表現方法を工夫し，グループ内でアドバイスをし合いながら，練習を行う。	○	1
終末	7 これまで学習した語彙や表現を使って，他己紹介クイズをする。 ・ 友達と誕生日やほしいものについてやり取りする。	○	1
	8 世界の一年などについて考え，世界と日本の文化に対する理解を深める。 チャレンジクイズをして，単元の振り返りをする。		1

6 本時（4／8）

(1) 目標

自分のことを伝えたり，相手のことをよく知ったりするために，表現内容や表現方法を工夫して，誕生日やほしいものについてよりよく自分の思いや考えを伝え合うことができるようにする。

(2) 評価規準

自分のことを伝えたり，相手のことをよく知ったりするために，表現内容や表現方法を工夫して，誕生日やほしいものについてよりよく自分の思いや考えを伝え合おうとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

(3) 指導に当たって

導入では，単元のゴールにつながる Small Talk を行うことで，必要な既習の語彙や表現，それらの活用の仕方について想起することができるようにする。また，振り返りカードを基に，学習過程や単元のゴールを確認することで，本時の目的や場面，状況等を明確にして学習することができるようにする。

展開では，三者対話によるコミュニケーションを取り入れ，既習の語彙や表現を使ってやり取りする場を設定することで，単元のゴールに向けたコミュニケーションの課題を共有し，「どうすればよりよく伝え合うことができるだろうか。」などについて話し合うことができるようにする。また，アドバイスカードやタブレット端末で撮影した動画を基に自分のコミュニケーションについて振り返ることで，自分の発表のよさや工夫すべきポイントに気づき，単元のゴールの達成に向けて，

自らのコミュニケーションに生かすことができるようにする。

終末では、振り返りカードに単元のゴールの達成に向けた本時の学びを記入することで、学習の到達度を把握したり、必要な語彙や表現を更新したりして、次の学習に生かすことができるようにする。

(4) 本時の展開 [] 子供の意識 ○ 指導の手立て ※ 評価規準

過程	時間	主な学習活動	指導の手立て	
			T 1 (HRT の役割)	T 2 (AEA の役割)
導入	5	1 あいさつ 2 Small Talk [・ 友達とのやり取りがスムーズにできるようになってきたよ。] 3 本時のめあて [さらにお互いのことを知るためには、どのようにして尋ね合えばよいだろうか。]	○ Small Talk を行うことで、他己紹介クイズをする時に必要な語彙や表現、それらの活用の仕方について、想起することができるようにする。 C1: What color do you like? C2: I like blue. C1: Me too. What color do you like? C2: I like yellow.	○ 振り返りカードを確認することで、本時のめあてに焦点化することができるようにする。
展開	33	4 Let's Listen1 [・ 誕生日を相手に尋ねるときは「When is your birthday?」と言えばよかったね。 ・ 欲しいものは、「I want~.」を使って伝えるとよかったね。] 5 チャンツ [・ 自分の誕生日を言えるようになったよ。 ・ 友達にも欲しいものをもっと聞いてみたいな。] 6 インタビュー (1) インタビュー・相互評価 (2) グッドポイントタイム (3) 2回目のインタビュー [・ 学習した表現を使って反応することができたね。 ・ ほしいものが上手く伝えられなかったな。] 7 プロフィールカードの作成 [・ 友達を読めるように四線に気を付けて、丁寧に書いたよ。 ・ 自分のことがよく伝わるプロフィールカードにしたいな。]	○ どんな語彙や表現が使われているか予想するよう伝えることで、目的をもって聞くことができるようにする。 ○ 「三者対話」によるコミュニケーションを取り入れることで、表現内容や表現方法の工夫に気付くことができるようにする。 ○ 「アドバイスカード」を活用することで、表現内容や表現方法を助言し合い、自らのコミュニケーションに生かすことができるようにする。 ※ 自分のことを伝えたり、相手のことをよく知ったりするために、表現内容や表現方法を工夫して、誕生日やほしいものについてよりよく自分の思いや考えを伝え合おうとしている。 (活動の様子) 【主体的に学習に取り組む態度】	○ ゆっくりスクリーンを読むことで、難しく感じている子供も聞き取ることができるようにする。 ○ 繰り返し発音することで、既習の語彙や表現に慣れ親しむことができるようにする。 ○ やり取りを聞き、内容について質問することで、表現内容の工夫に気付くことができるようにする。
終末	7	8 本時の学習の振り返り [・ AEA や友達にアドバイスをもらったことで、色や形、様子を尋ね合うと、ほしいものについてよりよく伝え合うことができると気付いたよ。] 9 あいさつ	○ 振り返りシートに本時の学びを単元のゴールにつながる短い文で記入することで、自らのコミュニケーションへ生かすことができるようにする。	○ 子供の頑張りやよかったところを簡単な英語で称賛することで、次時への意欲を高めることができるようにする。

7 表現や語彙について

表現	When is your birthday? My birthday is~. What do you want for~? I want~. What color is it? What shape is it? What ~ do you like? I like~. Who am I? Thank you. など
語彙	月 (January など), 日付 (first など), 衣類 (T-shirt など), 状態 (big など), 日常生活 (ball など), 色 (yellow など), 形 (star など) など